

### 令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

#### 1. 申請団体情報

##### 1-1. 申請団体

団体名	三原村役場			代表者名	田野 正利
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	総務課	連絡先電話番号	0880-46-2111
担当者役職	主事	担当者氏名	関本 正太	連絡先E-mail	
住所	787-0892 高知県三原村来栖野346				

##### 1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

##### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名(予定)	庁内DX推進事業
概要	スケジュール及び施設管理、窓口業務等でデジタル化を図り、庁内のDX推進を行いたい。そのDX推進していくうえで、庁内視察や職員のヒアリングを行って、必要な対応策を助言いただきたい。		
支援を求める分野	EBPM人材(DX推進のための機運の醸成) 人材(DXに関する知識習得・研修・育成) 行政手続オンライン化 デジタルデハイド対策		

#### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	234K	令和6年12月6日	支援・助言&講演	実地
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年12月6日	支援・助言&フォローアップ(実地)	9時00分	12時25分	
			活動時間(分)	205	
2-2. 派遣場所	会場名	三原村役場	最寄駅	平田駅	
	所在地	高知県幡多郡三原村来栖野346	最寄駅からの交通手段	村営バス	

#### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	由比 良雄
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	職員へのDX基礎研修を通して、意識改革を図っていただいた。庁内のDX推進に向け、自分一人ではどうにもならなかったところから、村長まで意見を届かしてもらい、ある程度のビジョンが見えてくることまでできた。
アドバイザーへの要望事項	これから庁内DX推進を図っていく中で、アドバイザーに力を借りないといけないことが多々あるので、継続的支援をお願いしたい。

#### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	10人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	10			
4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果					
事業の課題・問題点(具体的に下記記入下さい)	村長が不在の場合が多く、急ぎの住民向け決裁が思うように回らないことが多々ある。スケジュールは共有フォルダ内にあるエクセルで、施設管理は各担当課にて管理簿に手書き又はエクセル管理している状態である。また、窓口業務等のデジタル化も進んでないため、窓口業務等のデジタル化が進んでいる自治体と比べ住民を待たせる時間が長く、デジタルデハイドが生まれている。以上のことから、電子決済の導入、脱エクセル管理、スムーズな住民対応のための窓口業務等のデジタル化を行い、デジタルデハイドをなくすことが課題であるといえる。				
支援により目指す成果(具体的に下記記入下さい)	職員の意識改革・業務時間改善を目指し、仕事へのモチベーション上げに繋げる。そうすることで、速やかで丁寧な住民対応ができるようになると考えている。				

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	職員向けのDX研修を行っていたが、DXの基礎的な知識について職員に研修していただいた。村長に、ヒアリング調査から見てきた庁内の課題や職員の意見を伝えていただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	職員にDXの基礎を学んでもらって、意識改革ができた。研修を通して、庁内のDXへの遅れや、どこを改善していくべきなのかを考えることができていた。村長から、「庁内の情報化の遅れは深刻であり、DX推進に向け早急に取り組まなければならない」という前向きな意見を聞くことができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他 職員のDXへ関する理解度が以前よりも深まった。また他の市町村と比べて庁内のDX化が遅れていることを知り、「今のままではダメだ」「この環境を変えていかなければならない」という意識改革ができたのではないかと思う。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	再度、村長・総務課長・自分・地域情報化アドバイザーで話し合いの場を設けて、庁内で改善すべき点を優先順位をつけ予算化につなげたいと思っている。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 DX研修終了後、研修を受けた方にアンケートを送付して回答してもらった。内容としては、研修の理解度と難易度、庁内のDX推進度及び改善点である。若い職員は、DX基礎に関してはある程度の理解度があった。しかしながら課長級には、DX基礎研修であっても難しいと回答されている方もおり、年齢に応じてDXの理解にかなりの差が生じている。庁内のDX推進度及び改善点については、アンケートを取った職員全てが果然するべき点があると答えた。改善点の中でも多かったのは、ヒアリング調査時にもよくあがっていた「スケジュールのエクセル管理」と「紙ベースでの会議室予約簿」をシステム管理にできないかという意見だ。この点に関しては、早急なシステム導入のために予算化しなければならないと感じた。課長級の職員からは、DX推進を図っていくために、今までの固定的な考えではなく、新しく柔軟な発想に切り替えていかなくてはならないという意識改革の必要性について述べた意見もでていた。以上のことから、DX研修を継続的に行って意識改革を図り、役場全体でDX推進に取り組んでいけるような環境を作っていかなければならないと感じた。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する 特に意見が多かった、スケジュール・会議室などのシステム管理について、予算化に向けて準備を進めていきたい。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	DX推進で業務の効率化を図り、職員のプライベート時間の確保・仕事への充実度を上げる。削減でき余裕ができた時間・費用を、住民対応やサービスの充実にあてる。そうすることで、スムーズかつ質のいい住民対応ができ、従来のような余計な手間や時間を煩わせることがなくなり、住民の幸福につなげることが最終目標である。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		<a href="https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/">https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/</a>
掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子  
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

